

会社名: (有)ホリケン		承認	承認	承認	承認	承認	承認	
第86回 (有)ホリケン 安全協議会・勉強会 議事録								
実施年月日	令和元年8月10日	進行者(責任者)			堀 峰也			
時間	19:00~19:30	議事録作成者			藤井 恭平			
場所	ホリケン テント倉庫	出席者			別紙参照			
1、勉強会挨拶		【5分】 ●(有)ホリケン 堀 峰也			3、はしご・脚立足場のついて			【10分】 ●(有)ホリケン 野口 辰成
2、フルハーネスの正しい使い方		【10分】 ●(有)ホリケン 野口 辰成			<ul style="list-style-type: none"> ・はしご、脚立足場の資料を使用し説明を実施。 ・はしご、脚立、脚立足場の使用前点検方法を資料を使い説明を実施。 ・はしごは作業足場ではないと注意喚起を実施。 ・はしご作業中に脚部の滑り止め部が破損し転倒、作業者が負傷した事故事例があったことを口頭で説明を実施。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・フルハーネスの説明資料及びフルハーネスの実物を使用し説明を実施。 ・2019年2月1日から安全帯の名称が「墜落制止用器具」に変更。 ・フルハーネス型墜落制止用器具を使い各パーツ毎の名称を説明。 ・墜落制止用器具及びフルハーネス型墜落制止用器具を実際に着用し、高所から墜落した場合を想定した救助を待つ待機時間を体験。下記は体験者の感想。 		4、現場でわからないことや疑問点			【5分】 ●(有)ホリケン 野口 辰成			
<ul style="list-style-type: none"> ・墜落制止用器具での体験談。 ①吊られている際の体制が腰を支点にしている為身体がくの字になりとても辛い。 ②救助までの待機時間は1分程度が限界な気がする。 ③墜落した際の衝撃で内臓などが痛みそう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・現場でのヒヤリハットを安全協議会兼勉強会資料下部切り取り部に記入し提出。 ・次回の安全協議会兼勉強会でやりたい事などを安全協議会兼勉強会資料下部切り取り部に記入し提出。 						
<ul style="list-style-type: none"> ・フルハーネス型墜落制止用器具での体験談。 ①吊られている際の体制が首を支点にしている為墜落制止用器具に比べて辛い。 ②救助までの待機時間は10分程度ならば余裕がある気がする。 ③墜落した際の衝撃がハーネス型墜落制止用器具の各所に分散されるよう 		墜落制止用器具に比べてかなり衝撃が緩和されると思う。						

参加者氏名は個人情報の為、HP上では非表示にしています

出席者名簿		日時	令和元年8月10日
		実施会社名	(有)ホリケン
代表取締役氏名	堀 峰也	工事担当者氏名	秦 千尋

有限会社 ホリケン

1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

勉強会写真

